

3月9日(日) 第1200回例会 明神山(播磨) (5) 一般向き

リーダー	小山	集合場所	JR姫路駅南出口出て左100mのトヨタカー前	
サブ		集合時間	9:00	JR大阪駅7:45発新快速姫路行き一三ノ宮8:08—姫路駅8:49着 ※姫路駅～登山口間はマイカー送迎
コース	JR姫路駅～マイカー移動 夢やかた—(10)—岩屋池—(30)—滑滝—(25)—西の丸分岐—(25)—明神山(昼食) 明神山—(15)—西の丸分岐—(30)—西の丸—(25)—夢やかた—(50) 下山後、マイカーで姫路駅へ移動 (歩行時間:休憩無しで約4時間20分)			

姫路市北部に位置する標高667.9^{メートル}明神山は播磨富士とも称される人気の山である。複数のコースがありますが今回は、登りは明神川の渓谷を辿り、明神山からの下山は、別の尾根道を下るコースをとります。

夢やかたにある登山口を出発し明神川に沿って岩屋池を過ぎると杉林の林道が始まる。

登っていくと長さ150^{メートル}の枯れた滝(滑滝)があり、その上の急斜面を上り詰めると西の丸分岐(他コースとの合流)である。

ここからさらに登り、別コースからの合流点を過ぎて最後の急斜面を越えると明神山である。

山頂は2等三角点があり、氷ノ山や雪彦山などが見渡せる良い展望である。

昼食を済ませ下山にかかる。西の丸分岐までもと来た道を下る。ここから登りとは別の尾根道を下っていく事になる。

但しこのコースは大きな一枚岩があり雨後は滑り易くなるので、その場合は登ってきた道をピストンする。

西の丸ピークを越え、岩場(達磨岩、マンモスの背、大黒岩等の岩場が続くがロープや鎖がありそれ程危険ではありません)を下っていくと岩屋池畔で登ったコースと合流し間もなく登山口の夢やかたに到着する。

JR姫路駅～登山口(夢やかた)間はマイカーでの送迎となりますので、定員12名先着順で受け付けさせていただきます。また、別途ガソリン協力金としてお1人500円を頂戴いたします。



3月30日(日) 第1201回例会 石清水八幡宮・背割堤ぶらり (6)

リーダー	岡野	集合場所	京阪本線 石清水八幡駅 改札出口	
サブ		集合時間	11:00	2025年 2月に阪神・阪急・山陽など時刻改訂が有りそうです。
コース	石清水八幡駅→(5分)神應寺→(45分)石清水八幡宮→(25分)善法律寺→(10分)安居橋→(5分)飛行神社→(15分)さくらであい館→(20分)背割堤→(30分)石清水八幡宮駅			

ぶらりシリーズ今回は、男山に鎮座する国宝・石清水八幡へ淀川三川合流の地で背割堤の桜並木を歩く！ 美しい山容の男山は、平安京の裏鬼門にあたり、山上に石清水八幡宮が鎮座します。眼下には、木津川・宇治川・桂川が合流する淀川に姿を変える、国内でも珍しい三川合流の地です。 駅前の観光案内所でガイドマップを入手。バスロータリーを過ぎて右折し、石清水八幡宮一ノ鳥居の手前の小路を道なり行き神應寺へ、山門をくぐり石段を登り境内へさらに奥の院への道をたどり、厄除け不動で霊験あらたかな杉山谷不動尊へお参り後清水の流れに沿って道なりに下り一ノ鳥居まで戻る、そして石清水八幡宮の境内へ二ノ鳥居へ。本宮は伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟であり、現在の社殿は徳川家光の造営で現存する八幡造本殿の中では、最古かつ最大規模であります。参拝し下山、善法律寺→安居橋(時代劇を思わせるたいこ橋)→飛行神社→さくらであい館(展望塔より360度のパノラマ展望)→背割堤(1.4km)を往復し石清水八幡宮駅へ戻ります。 さくら満開と好天を期待しましょう。 (都合で遅れる方は男山ケーブル利用¥300所用3分にて八幡宮本殿での集合でも大丈夫です。)

【大人の遠足BOOK 駅からウォーキング関西より抜粋】

